

平成 29 年 12 月 6 日

福島大学環境放射能研究所が 弘前大学被ばく医療総合研究所と協定を締結

福島大学環境放射能研究所は、弘前大学被ばく医療総合研究所と研究連携協定を締結することとなりました。

弘前大学被ばく医療総合研究所は、平成 22 年 3 月に設置され、万が一の放射線被ばく事故への備えとして、被ばく医療のための人材育成と被ばく線量評価などについての基礎的研究を進めています。

設置翌年に起きた、平成 23 年の東京電力福島第一原子力発電所事故では、事故直後から福島の支援活動に取り組み、地方自治体からの信頼も厚く、国内外で高い評価を受けています。

この協定締結により、弘前大学被ばく医療総合研究所が得意とする染色体異常に関する研究、放射性セシウムを含め放射性核種の環境動態や環境影響と被ばく線量に関する研究交流を行います。

これに伴い、下記の日程で協定締結式及び記念講演会を行います。

記

日 時：平成 29 年 12 月 22 日（金）

協定締結式：13：30～

講演会：14：00～

弘前大学被ばく医療総合研究所長・教授 山田正俊 氏

「弘前大学被ばく医療総合研究所概要紹介及び福島原発事故により放出された放射性物質の海洋における動態について」

場 所：福島大学環境放射能研究所 6 階（福島市金谷川 1 番地）

主 催：福島大学環境放射能研究所

（お問い合わせ先）

福島大学環境放射能研究所 事務室

電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp